

# 平成26年度 見附市 特別活動部 活動報告

部長 山本 啓介

## 1 研究主題

望ましい集団づくりを通じて、児童生徒のよりよい生活と個性の伸長を図る。

## 2 研究の概要

研修テーマに迫るために、今年度は以下の2つの内容で研修会を実施した。

○外部講師を招き、講演を聴く。

○部員同士が集団づくりについての悩み等を出し合い、交流する。

## 3 研究の実際

(1) 日 時 平成26年10月2日(木) 15:00～16:30

(2) 会 場 見附市立南中学校 会議室

(3) 講 師 長岡市立希望ヶ丘小学校 村山 宏樹 先生

演題「望ましい集団づくりを目指して

～学級活動の話し合い活動において～」

(4) 参加者 市内特別活動部員 12名

(5) 研修の概要

はじめに、話し合い活動の授業ビデオを参観した。今年度9月に実践された3年生の研究授業の様子を録画したもので、「マラソン大会に向けて頑張ろう」という議題で学級会が行われていた。映像を見ながら、村山先生から解説や話し合い活動におけるポイントを教えていただき、話し合うまでの下準備の大切さや話し合いを繰り返すことの有効性などを子どもの姿から学ぶことができた。

次に、授業ビデオを見ての感想や、特別活動において日々疑問に思っていること、悩み等を部員一人一人が出し合い、村山先生に答えていただいたり、部員同士で意見を交流させたりして、研修を深めることができた。



## 4 成果と課題

村山先生のご講演から、目標に向かって取り組む過程にこそ価値があるということ、その学級の方向性を決める大切な場となるのが話し合い活動であるということを改めて実感した。だからこそ、小学校低学年から経験を積み重ねていくことで、中学校での生徒会活動等につながっていくことが分かった。また、小・中学校にかかわらず、悩み等を村山先生にお聞きできたことや交流できたことは、発達段階における児童の実態把握にもつながり、今後の小中連携にも役立っていくと考える。

授業ビデオでの感想や質問が多かった話し合い活動での「教師の出場」や「司会・書記の育て方」などのスキル面や、「自己決定」と「集団決定」のバランスなどの運営面について今後、部会でも研究授業等を行い、研修を深めていく必要がある。

